

## 指導医・専門医合格者コメント



関 啓介  
(東京都)



角田 宗弘  
(群馬県)



太田 広宣  
(東京都)



半澤 昌也  
(東京都)

2020年の年明けすぐ、笹川記念館にて指導医認定試験を受験いたしました。申請と書類提出期限は前年の11月でしたので、準備は8月から始めました。私は大学勤務のため論文で症例数をカバーし、提出症例は60例を想定しました。それでも持参したアルバムは3冊にもなりカバンがずっしりと重かったことを記憶しています。口頭試問は試験官3名(30分)を3テーブルまわるハードなものでした。無事クリアできましたが、この場をお借りして田中会長ならびにアドバイスをいただいた小倉委員、会員の皆様に感謝を申し上げます。 関 啓介

私は2018年、研修施設在籍期間不足という基本的なミスで1回失格となりましたが、なんとか1年遅れで受験させて頂き、晴れて合格することができました。当会講師陣の皆様からの親切丁寧な指導のおかげです。ありがとうございました。

試験対策として必要なことは、受験生同期で様々な情報を共有すること、専門医試験特別研修会で指摘されたことを忠実に修正し、自分で質疑応答をいくつか用意しておくことだと思いました。

受験までたどり着ければ合格できますから、悩んでいる方も是非頑張ってトライして下さい。

角田 宗弘

2012年にCISJの門を叩き、専門医を目指してまいりましたがこの度日本口腔インプラント学会専門医試験に合格することが出来ました。

これも偏に田中会長、専門医委員長の小倉先生、佐久間先生をはじめ委員の先生方の手厚いご指導、ご助言を頂いたからだと感謝しております。100時間認定コースの会は他にもたくさんあるなか、この会は伝統だけでなく会員の為に最後までしっかりご指導いただける会であることを実感しております。

太田 広宣

今回専門医試験に合格できたことは、田中会長、小倉先生をはじめ、丁寧に指導してくださったCISJの先生方のおかげだと思い大変感謝しております。思えば2014年度に認定講習会を受講し、専門医取得までの流れを聞いたときは、とても自分には無理なことだと思っていました。しかし日本口腔インプラント学会が規定しているケース試験、論文掲載、学会発表、症例選択、申請書類、試験といった課題に対して、そのステップごとにCISJの先生方が懇切丁寧にサポートしてくれることによって、ひとつひとつ課題をクリアしていくことが楽しくもあり、また自分自身にインプラント臨床に必要とされる知識や技術が自然と身についていくことを実感いたしました。今後も専門医になれたことに満足することなく、研鑽を積んで安心安全なインプラント治療を患者さんに提供できるよう努力していきたいと思っております。 半澤 昌也